

(活動報告書様式)

団体名	鶴岡スペースステーション		
事業名	庄内から宇宙へ—地球を飛び出した宇宙飛行士さんのお話—		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【県政課題：科学との触れ合いの場の提供による子どもたちの「科学する心」の醸成】		
団体の 所在市町村	鶴岡市	事業費	808,211 円
		うち助成金額	500,000 円



### ■事業目的

宇宙飛行士から話しを聞くことで、庄内地域の子どもたちの宇宙や科学への興味を湧き立て、大きな将来の夢を持つきっかけとなることを目的とする。また、会場の旧加茂小学校は4年前に廃校になった。学校とは、誰にとっても大切な思い出の場所であり、そこに宇宙飛行士が来た、という事実が自分の地域に自信や誇りを持つきっかけになって欲しいと考える。さらに、庄内地域には科学館がないため、宇宙や科学に触れる機会としたい。

### ■実施内容

油井亀美也宇宙飛行士による講演会、宇宙関連模型などの展示。

実施日：展示 11/1(日)-7(土)

講演会 11/8(日)

対象：庄内地域の幼児~大人

### ■事業の成果及び今後の展望

#### ①事業の成果

参加者数：展示：483名

講演会：152名（オンライン62名含む）

スタッフ：37名

JAXAから借用した展示品や模型、宇宙飛行士の講演により、宇宙が身近になることで、視野が広がり宇宙や科学への興味と共に、将来の夢に希望を持つことができた。また、加茂という限界集落でも最先端の学びの機会を得ることができると、地元住民や県内の方に実感していただき、「鶴岡で宇宙を見ることができるなんて」という声を多数いただいた。

#### ②今後の展望

イベントに参加したことでも生まれた好奇心を継続させられるよう、常時宇宙や

科学に触れられる科学館のような場を作ることが目標である。また、講演やワークショップについては引き続き開催していく。さらに、庄内地域には科学館が少ないため、日々情報が更新される宇宙開発の最新情報を発信する場という役割も担い、地域と科学をつなぐ場を作っていく。

具体的には、ウェブサイトやSNSを活用する。また、小中学校での講演では自身の経験から、宇宙の仕事の内容やどのような人が関わるのかを伝え、子どもたちの将来の夢を膨らませる手伝いをしたいと考えている。

当会 W e b サ イ ト：  
<https://www.tsuruokaspacestation.org>